

令和8年度
(2026年度)

総合教育部の取り組み

<部長の方針・考え方>

教育大綱・教育振興基本計画に基づき、本市の教育目標「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく」の実現を目指して、子どもたちが心豊かに成長し、輝かしい未来への可能性を最大限に伸ばすことができるよう各種取り組みを着実に推進します。

また、各種取り組みの着実な推進に向け、職員一人ひとりが自らの役割をしっかりと理解するとともに、部署の枠にとらわれない柔軟な思考と各事業の先にいる子どもたちや市民の姿を思い描く想像力をもって、生き生きと前向きに職務に邁進できる職場づくりを進めます。

<部の構成>

教育政策課
新しい学校推進課
おいしい給食課
中央図書館

<主な担当事務>

- (1)教育に関する事務の点検・評価等、教育施策の総合調整に関すること。
- (2)社会教育に関する調査研究、企画、立案に関すること。
- (3)通学路の安全に係る企画、立案及び対策に関すること。
- (4)学校規模等適正化の推進に関すること。
- (5)学校給食に関すること。
- (6)図書館サービスに係る企画・運営に関すること。

重点的な取り組み：民間活力を活用した小学校の水泳授業を計画的に推進

【施策シート：16—03】

令和8年3月に策定した「小学校水泳授業民間活用の全校実施に向けた年次計画」に基づき、令和10年度までに全校で実施できるよう、引き続き、学校、事業者と連携しながら、本事業を計画的に推進します。また、旧中宮北小プール跡地を活用した、民設民営による新たなプール施設の確保について、跡地活用事業者の公募及び事業者決定に向け取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
水泳授業を新規に委託した学校数	10校 (年次計画に基づく校数)	1校

重点的な取り組み：学校規模の適正化

【施策シート：16—07】

平成28年3月に枚方市学校規模等適正化審議会から答申を受け、令和4年4月に旧高陵小学校と旧中宮北小学校を統合しました。今後も市立小中学校の児童生徒数の減少が見込まれており、子どもたちの学習環境を整える観点から、引き続き、学校規模等適正化に向けた検討を進める必要があります。

こうした状況を踏まえ、まずは、小規模校等の課題解決に向けた学校規模等適正化に係る取り組みの方向性について検討を進めます。

重点的な取り組み：中学校の全員給食の実施

【施策シート：16—09】

整備運営をPFI方式で行う新たな給食センターの整備については、公募における民間事業者の参加表明がなかったことから、サウンディング調査等での検証や、アドバイザー事業者のサ

ポートを受けた要件等の整理などにより公募内容や今後の進め方等の見直しを行い、民間事業者の確保につなげます。また、公募状況を踏まえ、既設の第一学校給食共同調理場の改修にスムーズに移行できるよう取り組みます。中学校の配膳室の改修等については、学校運営や給食提供に支障がないよう学校や関係部署と調整を図り、着実に取り組みを進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率	78%	58.7%

重点的な取り組み：図書館サービスの充実について

利用者自身で瞬時に貸出処理できるICタグシステムの導入が完了することから、貸出の自動化により創出される時間を活用し、魅力的な棚づくり、レファレンス・読書相談等の専門的なサービスのさらなる充実を図ります。

併せて、駅直近の市駅前図書館では通勤、通学、買い物などで立ち寄れる立地や、夜間・休日開館、24時間対応の返却・予約図書受取システムなど、高い利便性を生かし、働く世代、子育て世代、学生などの多様なニーズにも応え、利用の拡大につなげます。

時間や場所の制約なく利用でき、文字サイズの変更や読み上げ機能があるひらかた電子図書館サービスについてさらなる周知を行い、コンテンツの充実を図ることで、来館による利用が難しい人や紙の本を読みづらい人にも図書館を利用してもらえるよう努めます。また、借りた本の書名などを記帳できるひらかたブックダイアリーを活用し、読書に対するモチベーション向上を図ることで、本に親しむ環境づくりを進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和8年度目標値	令和7年度実績（参考）
図書館全館の年間個人貸出・団体貸出冊数	5,000,000冊	4,481,969冊